

# 令和7年度学校経営計画

江田島市立江田島小学校

## I ミッション

- ふるさと「江田島」で、学んで良かったと思える教育の実現
- 一人一人が主体的に学び、多様な人々と協働して、新たな価値を創り出そうとする基盤づくり
- 「さとうみ」を教育資源とし、学習活動や自然体験活動の充実を図り、郷土への愛着や誇りを育む
  - ・資質・能力の育成を意識した学びの連続性
  - ・地域の教育資源の活用と体験学習の充実

## II ビジョン

- 地域の願いを受け止め、学校と家庭が連携・協力し、「知・徳・体」をバランスよく育む教育の創造

## III 現状分析

### 「確かな学力」

- ・令和6年度「江田島市学力調査」より、各教科平均正答率（着色のセルの箇所は、目標値を下回ったもの）

	国語			算数			理科		
	知・技	思・判・表	主体的	知・技	思・判・表	主体的	知・技	思・判・表	主体的
1年	79.4	70.0	80.0	80.3	63.7	69.4			
2年	82.9	66.8	72.4	73.2	58.8	54.7			
3年	65.4	55.2	63.1	73.9	53.1	63.8	77.9	56.4	65.6
4年	69.2	61.8	55.2	66.2	57.0	47.9	72.5	52.4	55.3
5年	74.1	68.1	64.2	65.0	53.8	48.0	79.7	69.7	64.9
6年	57.1	70.8	68.4	71.6	58.5	61.3	64.9	55.6	58.7

- ・令和6年度は研究主題を、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る授業改善を通して、取組を進めてきた。令和6年度の全国学力・学習状況調査においては、国語科の平均正答率は62%（全国平均より-5.7ポイント）、算数科の平均正答率は56%（全国平均より-7.4ポイント）と、2教科とも全国平均を下回る結果となり、今後より一層、授業改善に取り組む必要がある。
- ・江田島市学力調査においては、国語科と理科については一定の成果は表れているものの、算数科では、学校全体として知識・技能面の定着と主体性に課題が見られる。また各学年の平均正答率は、目標値を上回った学年の割合は56%であった。今後は特に学校全体で、算数科の学力向上に努めていく必要がある。

### 「豊かな心」

- ・自己有用感を感じている全児童の割合は、中間評価で74%、最終評価で84%であり、昨年度の数値と比較すると最終評価では2ポイント上回る結果であった。また、目標に向かって努力する児童については、中間評価で63%、最終評価で85%であり、最終的には目標値であった85%を達成することができた。
- ・校内の早朝ボランティア活動への参加率は、全児童中65%の児童が年間1回以上参加することができ、前年度より6ポイント上回る結果であった。

### 「健やかな体」

- ・「運動やスポーツが好き」と答えた5年生児童の割合は81%であり、目標値であった90%以上を達成することはできなかった。また、「1日1回以上、外遊びをする児童の割合」は、全児童アンケートで62%に留まり、目標値の90%を大きく下回る結果となった。

### 「信頼に応える学校」

- ・令和6年12月に実施した保護者アンケートでは、保護者の学校満足度は、82.4%であり、目標値であった90%以上を達成することはできなかった。今後は特に、教職員自身が保護者や地域の願いを真摯に受け止め、児童が「学校が楽しい」と実感できる取組を、家庭とも協力を図りながら組織的に進めていく必要がある。

### 「働き方改革」

- ・令和6年度後期の超過勤務時間45時間以内の教職員の割合は70.4%で、目標値であった60%以上を達成することができた。前期の割合は50%であったことから、教職員の「働き方」への意識は徐々に高まってきている。今後も働きやすい環境が構築できるよう、業務の改善策を組織全体で意識しながら実践していく必要がある。

IV 学校教育目標

まっすぐ しなやかに ねばり強く ～ 学びをつなぎ、ともに創造しようとする児童の育成 ～

V 目標及び取組

	中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方策
学び続ける力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的・対話的で深い学びを推進し、基礎的・基本的な知識・技能を定着させ、児童自らがねばり強く学習に取り組もうとする力を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別最適な学びと協働的な学びの一体的に推進し、授業改善を進める。 (「主体的な学び」が定着している児童の割合)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科等の資質・能力の育成を目指した授業改善を継続的にを行い、学びの自立化を進める。</li> <li>4つの資質・能力を教職員と児童が共有し、取組をフィードバックさせる中で、主体的な学びをより一層定着させる。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎・基本の定着を図る。 (江田島市学力調査の各教科の合計点が、目標値を上回った学年の数)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国語科や算数科における基礎学力の向上を図るために重点課題を整理し、つまづきのある児童への具体的な手立てを工夫する。</li> <li>児童の発達段階や、これまでの積み重ねを考慮したうえで、体系的な家庭学習の在り方を工夫し、児童自らが、課題と向き合える自主学習に取り組ませる。</li> </ul>
思いやりのある心の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>互いの個性や多様性を認め合い、安全・安心な学級づくりを実現し、児童自らが主体的に活動しようとする力を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自ら進んで行動することを通して、児童の自己実現力や自己効力感を高める。 (自己実現力・自己効力感がある児童の割合)</li> <li>自分の夢や目標をもち、実現に向かって努力する児童を育てる。 (目標に向かって努力する児童の割合)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道徳教育や人権教育の充実を図りながら、他者を思いやる心を育むとともに、児童の言動に対して的確な指導や評価を行う。</li> <li>より良い人間関係を築く力を育成するために、学級活動の充実を図り、個が育つ望ましい集団づくりを構築する。</li> <li>児童による自主的で実践的な活動を継続実施する中で、児童の行動を適切に評価し、価値付けをしていく。</li> </ul>
健やかな心身の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動の楽しさを味わえる取組を推進し、体を動かす機会を習慣化させ、児童自らが体力向上を図ろうとする力を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動習慣の確立に向け、ねばり強く取り組む児童を育てる。 (「運動やスポーツが好き」と答える児童の割合)</li> <li>自ら進んで、運動に親しむ児童を育てる。 (進んで運動に親しむ児童の割合)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外遊びを奨励し、友達と関わりながら体を動かすことの楽しさを味わうことができるよう、各学級で遊び方等を工夫する。</li> <li>体育委員会を中心に、異学年集団で遊べる外遊びを計画し、運動の楽しさを味わわせる。</li> <li>体育の授業内で、サーキットトレーニングや単元に沿った準備運動を取り入れ、「瞬発力」「投力」に焦点化した種目に取り組ませる。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>食と健康の大切さに気付き、より良い生活習慣の定着に向けて自己管理できる児童を育てる。 (朝食を毎日食べた児童の割合) (起床・就寝時刻のが適切な児童の割合)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣の定着を図るため、生活リズムチェック等を活用した保健指導を実施させ、取組の充実を図る。</li> <li>食に関する知識の習得及び実践できる能力の育成を目指し、学校医や栄養士と連携した給食試食会の取組を計画的に行う。</li> </ul>
信頼に応える学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者や地域住民等の協力を得ながら学校運営を行い、家庭やPTAと連携・協働した取組を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童、教職員の姿を通して、地域・保護者から信頼される教育活動を推進する。 (保護者の肯定的評価の割合)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校評価アンケートやいじめアンケート等を計画的に実施し、児童や保護者の思いを受け止めながら、教育活動に反映する。</li> <li>保護者の願いを受け止め、連携を深めながら、信頼関係を構築するとともに、ホームページや学校だより等で日常的な児童の成長を伝え、発信していく。</li> </ul>
働き方改革	<ul style="list-style-type: none"> <li>働き方改革を推進し、教職員が健康でやりがいを持って働くことができる環境を整備する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>超過勤務時間を削減し、教職員がやりがいをもって働ける組織づくりを進める。 (超過勤務時間が45時間以内の教職員の割合) (教職員の肯定的評価の割合)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員アンケート等も実施し、業務改善に向けた取組を継続的に行う。</li> <li>日課等を工夫・改善し、子供と向き合う時間を確保する。</li> </ul>